

「山王中学校生徒指導通信」～「志」が宿り、「いかに生きるか」を考えるために～

『命の山王』

No. 16 [2018年 8月30日(木)]

暑くそして熱い夏でした！

約1か月の夏休みが終わり、新たに学校生活がスタートしました。夏休み中に、大きな事故や怪我、病気などの報告がなく、ホッとしているところです。生徒自身もそうですが、ご家庭での心配りがあったおかげだと思います。ご協力に感謝申し上げます。

それにしても暑い夏でした。関東や関西、東海地区に比べれば、秋田はまだ涼しいほうなのかもしれませんが、時々35度を超える気温があったわけで、本当に暑さを感じる夏休みでした。

しかし、それ以上に熱かったのは、何と言っても「金農旋風」の吹き荒れた甲子園大会でした。これほど、金農がそして秋田が目ざれるとは、誰も想像しなかったことでした。たいへん失礼ながら私自身は、いくら吉田君が好投手でも、1回か2回勝つくらいだろうと思っていました。だから、3回戦で横浜高校との対戦が決まった時は、ここまでかな？と思ってしまいました。しかし、見事に名門横浜高校を破り、その後はご存じの通り、日本中を感動の渦に巻き込みながらの快進撃となりました。

さらに、そのメンバーの中に山王中の卒業生がいたことで、私としてはさらにヒートアップしていきました。(ツーランスクイズの二塁走者としてホームインした菊地彪吾君が、一昨日学校に挨拶に来てくれて、すがすがしい表情で甲子園の報告をしてくれました。)

甲子園100回の記念大会で、秋田県の代表が103年ぶりに準優勝に輝いたことも、もちろん大きな感動を呼ぶものでした。しかし、日本中の人達が熱狂したのは地元出身の高校生が、有名な私立高校を次々と撃破していくドラマ性と、一人一人が持ち味を出して毎試合違う勝ち方をしていったこと、そして何より高校生らしいひたむきさがチーム全員から感じられたことが、大きかったと思います。

今年の夏は、何年経ってもあるいは何十年経っても語り継がれる夏になったと思います。私は試合を見ていただけですが、それだけでもたくさんのエネルギーをもらいました。それは熱い夏を吹き飛ばすものでもありましたが、暑い夏を熱い夏に変えてくれたものでもありました。あのエネルギーをこれからに生かしていきたいと思いました。

〔生徒指導主事：木内記〕

「若人山王精神」物語その8

昨日はまとめテストでしたが、その6校時に夏休みに行われた、東北・全国大会等の報告会が行われました。水泳部の鎌野目君の全国第3位を始め、たくさんの報告があり、生徒の頑張りを感じました。運動部はこれから1、2年生が部活を引っ張っていくことになります。先輩たちの活躍を、さらに超えていってほしいと思います。

半袖の着用を！

暑さはとりあえず収まっていますが、室温は30度ほどになっています。以前から連絡していますが、夏日(25度以上)は夏服である半袖ポロシャツの着用をお願いします。登下校時に肌寒さを感じた場合は、何か上に羽織って(制服の上着も可)登校してください。